

平成22年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	北区北部山間いきいき大作戦「エコツーリズムキャンペーン」		
予算額	2,600千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部まちづくり推進課（432-1208）		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>北区の北部山間地域(中川, 小野郷, 雲ヶ畑)は, 近年, 急速な人口減少, 高まる高齢化率や公共交通機関の減便など, 地域で共通した深刻な課題を抱えている。</p> <p>こうした地域を活性化するには, 人口減少の歯止めをかけ, 賑わいづくりが重要である。そこで, 昼間人口の増加を目指して, 豊かな自然をはじめとする既存の地域資源を生かした「エコツーリズムキャンペーン」に取り組む。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成22年度は, <u>山間部の自然や文化財, 歴史などの地域の魅力を来訪者が発見し, 学べるよう, 四季折々の事業を展開するとともに, 地域の特産品の紹介や新たな特産品の開発を行う。</u> <u>なお, 来訪者には, 公共交通の利用を促し, バス利用の増加を図る。</u> <u>また, ラジオ番組にPRコーナーを設けるほか, スポットCMを年間通じて放送するなど, 各種メディアを通じた広報を行う。さらに, 印刷物による積極的な周知活動も行う。</u></p> <p>■「エコツーリズムキャンペーン」事業内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 「雲ヶ畑四季フォトコンテスト」の開催 四季折々の豊かな自然を撮影した写真を募集。優秀作品でポスターを作成し, 広く掲示 「エコツーリズムポストカード」の作成 フォトコンテストの作品でポストカードを作成し, 地域来訪者に配布 「雲ヶ畑いきいきフォトツアー」の開催 プロ写真家が同行するツアーを開催し, 撮影指導と講評を行う。 「北山朝市」来客促進キャンペーンの展開 中川地域の「北山朝市」を宣伝, 誘客を図る。 「小野郷休耕田プロジェクト」の支援 小野郷学区の住民と佛教大学との連携による「小野郷休耕田プロジェクト」の取組を紹介する。 メディア広報 ラジオ番組内で地域の紹介及びキャンペーンスポットの制作・放送 <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	北区伝統ブランドいきいき発信事業		
予 算 額	800千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課 (432-1208)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「和」の文化の素晴らしさが見直されつつある今日、伝統産品に対する消費者ニーズは急速に高まっている。</p> <p>こうした中、北区では、地元関係団体や民間企業、学生等とタイアップをし、地域に根ざした基幹産業である京野菜や北山杉をはじめとする北区の「伝統ブランド」が持つ「ほんまもん」の魅力を広く発信することにより、新たな需要を開拓し、伝統産業の振興を図る。</p> <p>〔平成21年度の取組〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「もぎたて 京の朝市」、「京野菜の展示・パネル紹介」を市役所前ひろばや京都駅ビルで開催 2 北区における朝市や農業者が開設する直売所の取組を紹介した「京の朝市・直売所マップ」の制作・配布 3 「京都 北山丸太 新用途提案コンペティション」を実施し、建築家や学生は基より広く市民等から北山杉の新たな活用アイデアを募集 <p>[事業概要]</p> <p><u>北区の伝統ブランドの魅力を京都市民のみならず、京都を訪れる全国からの観光客に効果的に発信するため、平成21年度に引き続き、市民から好評を得ている「もぎたて京の朝市」を継続実施する。こうした事業の実施を通じて、関係団体等による自主運営の仕組みづくりを促進し、取組の定着を図る。</u></p> <p>また、これらの取組を通じて、生産者の生産意欲高揚並びに北区の伝統ブランド産品の消費振興を図り、北区の伝統産業の更なる活性化を目指す。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	上京知っとくナットク体験隊		
予 算 額	1,000千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部総務課 (441-5029)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>上京には、平安京遷都以来、1,200年を超える長い歴史の中で培われ、育まれてきた伝統文化が豊富に蓄積している。一方で、上京区に生まれ、暮らしているながらも、こうした伝統文化に触れる機会が少ないという課題がある。</p> <p>そこで、上京が誇る豊かな伝統文化や伝統工芸にたずさわる「人材」、「資源」を活用した取組を進める。区民の方々が京菓子や西陣織などの伝統文化や伝統工芸に触れ、実際に体験することで、こうした文化等への理解を深め、尊重する心を育んでいく。</p> <p>また、少子長寿化や核家族化の進行、地域住民の生活様式や価値観の多様化により、地域住民相互のつながりが希薄化している中、地域の財産である伝統文化に区民と一緒に触れる機会を設けることで、交流を深め、地域コミュニティの活性化を図り、「地域力」の向上を目指す。</p> <p>[事業概要]</p> <p>「上京知っとくナットク体験隊」の概要</p> <p><u>区民を対象に、実際に区内で体験できる伝統文化や伝統工芸に関する講座を実施する。今回は、「ものづくり」をコンセプトに、親子で参加できる内容にする。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●講座内容 京菓子や西陣織など、地域の伝統文化や伝統工芸に身近なものとして触れ、体験する。また、実際に従事している方からの話を聞いてもらう。 ●受講対象者 区内小・中学生(小学生の保護者は参加・可) ●受講料 1回券500円 5回通し券2,000円 <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	静原地域のまちづくり		
予 算 額	800千円	新規・継続の別	新 規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課 (771-4246)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>「貴船・鞍馬」と「大原」との間に位置する「静原」は、市街地から30分程度という立地にも関わらず、人の心を癒す里山の原風景など自然が豊富に残っている。また、静原神社をはじめとする多くの社寺を有するなど、歴史と文化に彩られた地域である。</p> <p>近年は、市原バイパスの開通に伴い、大原方面(国道 367 号沿道)から、市街地に向かう準幹線道路上に位置していることから、交通量が増加傾向にあり、「北山トレイル」を楽しみ、大原から鞍馬を目指すハイカーも数多く通過する。</p> <p>一方、「静原」地域は、市街化調整区域に指定されていることから、原則として農林業を営む住民しか住宅の建設が認められないため、人口は減少傾向にあり、少子高齢化が進んでいる。</p> <p>こうした「静原」地域の持つ多彩な魅力を、PRする方策について検討を進める。</p> <p>[事業概要]</p> <p><u>地域、行政及び関係機関などが参画した共汗によるワークショップ等を開催し、魅力あるまちづくりのための目標や具体策等について検討する。</u></p> <p>ワークショップの開催にあたっては次の基本コンセプトをもとに検討を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美しい田園風景と調和した町並みの保存 ・自然と調和した昔ながらの生活文化の再確認 			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	区内大学との共同事業 「大学のまち・左京」区民講座の開催 ～区民とともに学ぶ左京学～		
予算額	1,200千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部総務課（771-4235）		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>区内に6つの大学(※)が集積する左京区では、大学と区役所の協議の場として「大学のまち・左京」推進協議会を平成20年度に設置し、「大学のまち・左京」の特性を生かした様々な取組を企画・実施している。中でも、平成21年度に開催した区民特別講座「左京の歴史」は、受講申込が殺到するなど区民の皆様に大変好評を博している。</p> <p>そこで、こうした実績を踏まえ、各大学の第一線の研究者と区民が一緒になって左京区がもつ地域特性などについて考え、「大学のまち・左京」ならではのまちづくりを進めるため、区民講座を新たに開設する。</p> <p>(京都大学、京都工芸繊維大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、京都ノートルダム女子大学、京都府立大学)</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>「区民とともに学ぶ左京学」をテーマに、各大学が「左京の自然環境」、「左京の文化」について、それぞれの大学の特色を生かした講座を開講する。また、左京区役所も独自に講座開催等の取組を行い、「大学のまち・左京」の共同事業として実施する。</p> <p>「区民とともに学ぶ左京学」のテーマ</p> <p>1 左京の自然環境 【各大学が開催】 森林などの「左京の自然環境」について、各大学の特色を生かした講座</p> <p>2 左京の文化 【各大学が開催】 伝統工芸、文化遺産などの「左京の文化」について、各大学の特色を生かした講座</p> <p>3 左京の暮らし 【左京区役所開催】</p> <p>(1) 講座の開催 左京区役所が独自に企画し、区内各地域を会場として、各地域の暮らしの変化に関する講座。</p> <p>(2) 市民しんぶん左京区版での連載 各地域の暮らしの変化に関する講座の内容を広く区民に知ってもらうため、市民しんぶん左京区版「左京ボイス」に連載する。</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	人口増加に対応した地域活動の支援事業		
予 算 額	500千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部総務課 (812-2421)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>中京区では、近年のマンション増加に伴い、新たに区民となる方が増加する一方、住民間の交流が必ずしも円滑に進んでいない状況が見られる。地域活動の活性化は、住民自らが主人公となる住民自治を実現していく上で欠かせないものであり、本来の地域力を引き出すためには、地域住民が主体的、積極的に地域活動に参加する土壌の形成が必要である。</p> <p>中京区では、自治会等の関係者が地域住民への対応について学区を越えて情報交換できる場として「地域とマンションの交流に関する情報交換会」を平成20年度から開催している。また、話し合われた情報や紹介事例は、地域が実際に活動を展開する際の参考となるよう、報告集として取りまとめて配布している。</p> <p><u>平成22年度はこれまでの成果を踏まえ、地域活動の新しい取組の実施に向けた具体的な対策について検討する会議を設置するなどの支援体制を整える。</u></p> <p>[事業概要]</p> <p>1 「学区まちづくり事業検討会議(仮)」の開催</p> <p>過去2年間の情報交換会の中で得られた情報や知識、アイデア等を実現可能な取組としてより具体化するために、パイロット学区を数箇所選定し、学区内の関係者を対象とした「学区まちづくり事業検討会議(仮)」を開催する。</p> <p>平成22年度はプランの作成に取り組み、平成23年度にプランに基づく取組の実施を目指す。</p> <p>2 「中京区まちづくり次世代推進者共育支援事業」との連携</p> <p>次世代のまちづくり活動の担い手育成プログラムである「中京区まちづくり次世代推進者共育支援事業」受講者に「学区まちづくり事業検討会議(仮)」へ参加してもらい、地域の生の声を聞いて協働する“実践の場”とする。</p> <p>3 活動報告集の作成</p> <p>地域の新しい取組を実施する際に、より効果的なものとなるよう、これまでの情報交換会の報告集に、「学区まちづくり事業検討会議(仮)」の取組内容等を追加して、活動報告集としてまとめる。</p> <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>パイロット学区における円滑な住民交流、地域活動の更なる活性化を目指した新しい取組を展開し、将来のまちづくりに苦慮している学区や地域の参考事例となることを目指す。</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	大学・地域いきいき東山推進事業		
予 算 額	1,200千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課 (561-9114)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>東山区は、少子高齢化が市内で最も進行し、人口減少も著しい。また、近年の生活様式や価値観の多様化により、住民の地域活動への参加頻度は低下し、自治組織の担い手不足が課題となっている。</p> <p>そこで、地域が自ら課題を解決しまちを活性化するため、「大学のまち・京都」が誇る大学の人的、知的資源を生かし、地域と大学との連携促進を図る取組を進める。</p> <p>これまで、東山区役所では、区内の京都女子大学・同短期大学部と地域連携・協力に関する包括協定を締結し（平成20年2月26日締結）、学生の地域行事への参加や地域をフィールドとした実践的な教育の充実等を促進してきた。</p> <p>包括協定締結から3年目を迎える平成22年度は、<u>これまでの事業成果の分析と課題等を研究し、地域の大学との連携をより一層促進するとともに、大学間相互の交流を深め、大学と地域双方が活性化するための新たなしくみづくりを目指す。</u></p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 大学地域連携に関する意識調査とニーズ調査の実施</p> <p>自治会をはじめ地域の様々な主体や市内の大学を対象に、大学地域連携に関する意識調査を行い、新たな大学地域連携のしくみづくりを研究する。</p> <p>2 大学地域連携普及促進事業「東山区大学地域^わ輪^わい祭（仮称）」の実施</p> <p>包括協定を締結した京都女子大学をはじめ、区内で活動する大学が一堂に会し、大学地域連携について共に考え、互いに理解を深める「地域と大学の連携づくりの場」、「大学間交流の場」として開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催予定 平成22年10月 ・ 開催場所 東山区総合庁舎 ・ 内 容 大学地域連携普及啓発コーナーの設置 大学地域連携に関するシンポジウムの開催 大学地域連携活動発表 等 			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	山科区交通問題研究会(仮称)の設立		
予算額	1,200千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部まちづくり推進課(592-3088)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>山科地域では、平成9年10月の地下鉄東西線開業に伴い、醍醐車庫が閉鎖し、バス路線が京阪バス路線に一元化された。その後、バス路線の見直しが一部行われているものの、山科区自治連総会「明日の山科を考える」において「公共交通機関の利便性向上」が懸案事項と位置づけられるなど、問題解決を望む区民の声が高まりつつある。</p> <p>また、次期山科区基本計画策定に当たり、地域からの要望事項を集約したところ、約半数の学区において、交通体系の整備が地域の課題として抽出されている。</p> <p>そこで山科区では、こうした地域要望を踏まえ、また「『歩くまち・京都』総合交通戦略」の考え方に基づき、区の交通問題を解決するための対策を議論する場として、交通問題研究会(仮称)を設立する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>研究会の議題内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 現在の京阪バス路線の新設や変更 2 コミュニティバスの検討や、地域の病院バスや福祉バスとの連携 3 バス路線の再構築について、地下鉄の増客につなげることも視野に入れ、具体的な対策について研究・検討する。 <p>研究会メンバー(予定)</p> <p>区内交通事業者、地元団体、学識経験者、庁内関係部局などにより構成</p>			
<p>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	おこしやす“やましな”スタンプMAP(仮称)～山科を巡って、名産品をゲットしよう～		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部総務課 (592-3066)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>山科区では、NPO 法人「おこしやす“やましな”協議会」が、観光案内板の整備や観光マップの作成など、地元団体が中心となり観光客誘致を目指した積極的な観光振興に取り組んでいる。</p> <p>平成21年秋の観光シーズンには、地元団体と山科区役所が連携し、京都・やましな観光ウィーク「恋の地・平安浪漫の路in^{ロマン}勸修寺・^{みち}随心院」を実施し、多くの来訪者があった。</p> <p>平成22年度は、観光客数の更なる増加を図り、地下鉄の増客対策につなげていくため、地元団体と連携したスタンプラリーを実施する。また、山科の観光イベントや観光名所、山科の名産品についても紹介する広報活動を積極的に展開する。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1 スタンプラリーの実施</p> <p>毘沙門堂や勸修寺、随心院など、あらかじめ指定する施設を複数訪れた方への山科の名産品プレゼントや、スタンプラリー参加者への拝観料割引などの特典を用意する。</p> <p>2 広報活動</p> <p>山科の観光イベントや観光名所をはじめ、山科の名産品についての情報をまとめたスタンプラリーの台紙を作成する。また、区外や市外の方の誘致に向け、印刷物を広く配布し、山科の観光情報の周知を図る。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	区民・民間事業者との協働による京都駅周辺の放置自転車対策(区役所敷地内での駐輪場の拡充)		
予算額	0円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	—
担当課	区民部総務課 (371-7163)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>下京区においては、多くの観光客等が訪れる京都駅北口周辺における違法駐輪対策を進めるため、地域住民、事業者、行政が参画する協議体「京都駅前周辺駐輪対策協議会」を平成18年6月に設立し、違法駐輪に関する実態調査、啓発等の対策を講じている。</p> <p>また、平成21年度には、下京区130周年を記念して、「歩く下京時遊自在」の発行や、「歩いて！しもぎょうスタンプラリー」の実施など、自動車中心から、公共交通機関と徒歩、自転車の利用への転換を促し、未来まちづくりプランに掲げる「歩いて楽しいまち」の実現に向けた取組を推進している。</p> <p>[事業概要]</p> <p><u>下京区総合庁舎の駐輪場を拡充する。平成22年中の供用開始に向け、下京区の提供する土地に、24時間稼働の個別ロック式駐輪機器を設置し、その管理運営を行う事業者を募集する。</u></p> <p>1 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> 違法駐輪の解消 当区総合庁舎の駐輪場を拡充し、来庁者のみならず周辺施設利用者也一定時間までの利用は無料とすることで、総合庁舎周辺の違法駐輪を解消する(現状:約60台→拡充後:約120台)。 自動車利用の抑制 駐輪場の拡充に伴い駐車場を縮小することにより、来庁者の自動車の利用を抑制する。 <p>2 予算 0円 (民間事業者へ委託することにより公費負担を伴わない。)</p> <p>3 その他 来庁者等にアンケートを実施し、周知を図るとともに、可能な限り来庁者等の意見を反映する。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>(近畿の政令指定都市の状況)</p> <p>実施 神戸市中央区役所(勤労会館と併設)</p> <p>検討中 大阪市西淀川区役所, 東成区役所(公募準備中)</p> <p>その他 福岡市役所 敷地内にコンビニエンスストアを設置し、屋上部分を利用して来庁者用駐輪場を整備(事業効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政状況の厳しい本市現状に鑑み、民間資本の活用により、公費負担を伴わない手法で実現する。 下京区での取組を先行事例として、今後、自転車政策課等と連携し、周辺施設にも駐輪場の設置を促していく。 			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	南区地域コミュニティ育成支援事業		
予算額	500千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部総務課・まちづくり推進課(681-3111)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>地域活動の基盤となるコミュニティの弱体化が大きな課題となっている。地域コミュニティの活性化を目指し、その前提となる地域住民の参加拡大を図るため、市民主体のボランティアやサークルに働きかけ、交流の機会を設け活動領域を広げてもらうとともに、一般市民への参加促進を行う。</p> <p>具体的には、地域活動の参加に意欲がある市民に、自分に合ったボランティアサークルやグループを見つけてもらいグループ活動への参加の機会を提供することで、将来的に地域活動の担い手として成長できる環境づくりを目指す。</p> <p>平成22年度は、<u>サークル等が持つ地域活動への参加の登竜門としての機能強化を図るための講演会を開催し、ボランティアやサークルの連携や情報提供を活発化するとともに一般市民の活動参加を促進する。</u></p> <p>[事業概要]</p> <p>1 講演会の開催</p> <p>平成22年度は、「子育て支援」の分野において、担い手作りの大切さをテーマとした講演会を開催する。南区には、様々な子育て関係のサークルやサロンが設立されていることから、活動初心者にもグループを知ってもらい、参加する機会を設定する。また団体間の交流を促進する契機とする。</p> <p>平成23年度以降は、子育て支援以外の分野においても実施していく予定。</p> <p>2 相互交流の継続を支援</p> <p>講演会を通じて交流を開始したサークルなどの相互交流が継続するよう、節目の時期にこれまでの活動を総括し発表する場を設定し、継続的な交流を支援する。</p> <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	「花畑と稲穂の里山」宍陰活性化事業		
予 算 額	700千円	新規・継続の別	新 規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課 (861-1264)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>右京区の宍陰地域は、平成17年に実施された国勢調査以降、人口、世帯数ともに減少傾向にあり、現在は、人口145人、世帯数55戸(平成21年8月1日現在の推計人口)、高齢化率は36.8%(平成21年10月1日現在)という状況にある。</p> <p>そこで、地域の存続と活性化のため、地域住民が主体となり自主的に地域の魅力を来訪者などへPRする取組を進める。また、住民自身が地域を見つめなおし、今後の課題と目指すべき方向性を見出せるよう自主的な取組を目指す。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成22年度は、住民が主体となった地域活性化を図るため、次の取組を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 <u>棚田風景などのビューポイントへ導く案内看板の設置や散策路を整備する。</u> 2 <u>宍陰地域以外から移り住まれている方にも参加してもらい、地域の活性化について話し合う「まちづくり委員会」を設置する。</u> 3 これまで取り組んできた「宍陰星空ファンタジー」や「宍陰ハロウィーン祭」の地域活性化事業を生かして、<u>宍陰地域ならではの「やすらぎ」や「くつろぎ」を提供し、里山の自然(農村景観)を生かした新たな体験プログラム(暮らし方、農業の営み等)を開発する。</u> 4 以上の事業の実施を通じて得た成果や課題を踏まえ、地域の将来像を描いた「<u>宍陰アクションプラン</u>」を作成する。 <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所

事務事業名	「西京塾」発 公園井戸端会議(仮称)		
予 算 額	1,200千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部総務課(381-7158)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>西京区では、自主的なまちづくり活動に携わる人材の育成と地域の更なる活性化を目指し、西京塾の活動を推進しているところであり、現在、「環境・自然班」及び「地域コミュニケーション班(公園探研隊)」の2つのグループが、区役所と協働して精力的な活動を展開している。</p> <p>「地域コミュニケーション班(公園探研隊)」では、身近に自然と触れ合うことができ、地域住民の憩いの場となっている公園が、子どもから高齢者まで、より多くの方のコミュニケーションの場として活用されるよう、「公園自然観察会」等を開催し、樹木への手作りネームプレートの設置や紙芝居の披露などを行っている。</p> <p>こうした区民の自主的活動の推進を行うとともに、地域の身近な公園が持つ多彩な魅力を、より多くの方に発信し、公園への愛着を持っていただけるよう、公園の利用促進はもとより、公園を通じたコミュニケーションの活性化を図る。</p> <p>[事業概要]</p> <p>地域コミュニティの活性化を目指して、<u>西京塾をはじめ、有識者、自治連合会、小学校、公園愛護協力会など、様々な分野にわたる関係者の参画を得て、次の取組を行う。</u></p> <p>1 「<u>公園の魅力発信シンポジウム</u>」(仮称)の開催 <u>公園を活用した活動等を熱心に展開している区内外の団体などが一堂に会して、身近な公園が有する多彩な魅力について語り合うとともに、それぞれの活動を充実させる方法等について考える場とする。</u></p> <p>2 「<u>緑の探研ウォーキング</u>」(仮称)の実施 西京区の公園や豊かな自然環境に実際に触れていただき、その良さや魅力をPRする機会として、<u>公園や自然に親しめるスポットを巡るウォーキングを行い、コース上の公園において、「自然観察会」で設置した樹木のネームプレート、貴重な植物、公園が誇る特色等について紹介する。</u></p> <p>[参 考(他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所

事務事業名	松尾山～桂坂ウォーキングロード(里山縦走)整備事業(仮称)		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部まちづくり推進課(381-7197)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕</p> <p>西京区では、区民との協働により作成した「西京ウォーキングマップ」を活用した「西京区魅力再発見ふれあいウォーキング」を開催するなど、「歩いて楽しいまち西京」の推進に積極的に取り組んでいる。</p> <p>本事業では、「歩いて楽しいまち」、「環境」、「観光」という3つの視点を基本に据え、松尾山から桂坂にかけて、歴史古道である「^{からとごえ}唐櫃越」を中心に整備を行い、「西京ウォーキングマップ大枝コース」と「京都一周トレイル西山コース」を結び、嵐山から大原野までを巡るコース設定が可能となる。</p> <p>実施に当たっては、区民にも親しみと愛着を持ってもらえるよう、地域ボランティアとの“共汗”により進める。</p> <p>〔事業概要〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 松尾山から桂坂にかけて案内・誘導標識を設置し、より多くの方に気軽に歩いていただけるコース整備を行う。 2 西山の木の文化を体感してもらえるよう、橋、手すり、階段、ベンチ等には西山産の間伐材を使用する。 3 ごみのポイ捨て防止のための啓発看板を設置し、環境保全意識の向上を図る。 4 より多くの区民や観光客にPRするために、健康づくりや観光振興等の視点を取り入れたリーフレット等を作成する。 5 完成時には地域住民との協働による記念イベントを開催する。 			
〔参 考（他都市の状況・事業効果など）〕			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所

事務事業名	「地域力」育成支援事業～木と華の香り漂う・花いっぱい運動の展開～		
予 算 額	900千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課 (381-7197)		
<p>〔事業実施に至る経過・背景など〕 近年、「地域力」の根幹である自治会への加入率の低下や、次世代の担い手不足が顕著になる一方、「団塊の世代」が定年退職を迎えるとともに、「市政総合アンケート」調査(平成16年度)において「市民活動」に参加したいと考えている人が5割を超えるなど、参加意識の高い市民が増加している。 本事業では、次世代の担い手育成を通じて、自治会組織や活動内容を見直すことにより、自治会活動を活性化し、「地域力」の更なる向上を目指す。</p> <p>〔事業概要〕</p> <p>1 「まちづくりリーダー塾」の開催 次世代の担い手育成を目的とした「まちづくりリーダー塾」を開催し、参加者が習得した地域活動における課題解決のノウハウを、それぞれの地域に持ち帰り、住民の間で議論することにより、新たな活動に結びつけることを目指す。</p> <p>2 地域の絆を創出する「モデル活動」の実施 「まちづくりリーダー塾」やモデル学区での検討内容等を具現化するモデル実践活動として、地域から産出される間伐材等を活用したプランター等に花を植え、地域活動を活性化するための重要な要素である「出会い、きっかけづくり」を、地域住民自らの手により創出する。こうしたモデル活動を区民の目に見える形で実施することにより、他の地域での広がりを図る。</p> <p>3 「まちづくり推進活動フォーラム」の開催 「まちづくりリーダー塾」における検討内容や、「モデル活動」の内容、効果及び重要性を紹介し、区民の地域活動への参画を促進するためのフォーラムを開催する。</p>			
〔参 考(他都市の状況・事業効果など)〕			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所洛西支所

事務事業名	『洛西ニュータウン』創生のまちづくり ～住民が主役でまちの魅力を高めよう～		
予 算 額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課, 総務課 (332-9118)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>洛西ニュータウンは、まちびらきから30年以上が経過し、少子・長寿化の進行やコミュニティの希薄化、サブセンターの機能低下など様々な課題に直面している。また、居住者の価値観の多様化により居住環境に関する合意形成が困難となっている。</p> <p>こうした中、今後のまちづくりの目標や課題、方策等を取りまとめた「洛西ニュータウンまちづくりビジョン」（平成18年11月策定）の実現に向けて、住民主体のまちづくり組織である「洛西ニュータウン創生推進委員会」が発足した（平成19年6月）。</p> <p>委員会では、課題に応じた4つの部会（環境部会、安心安全・子ども育成部会、コミュニティ部会及び生活機能向上部会）を設置し、議論を重ねるとともに、事業運営チームを組んで、様々なまちづくりプロジェクト（小畑川プロジェクト、ネットワーク形成プロジェクト及びまちづくり勉強会）を実施するなど、「住んでよかった」と実感できる魅力あるまちの実現を目指した取組を進めている。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>「洛西ニュータウン創生推進委員会」のこれまで3年間の活動により、自治会、各種団体や多様なまちづくり活動団体・個人がニュータウン全体で連携するための「仕組み」が芽生え、新たな「まちづくり体制」が育ち始めている。</p> <p>そこで平成22年度は、これまでの取組をさらに充実させ、<u>近い将来予想される居住環境等の課題に直面した際に、住民相互が価値観を共有したうえで、洛西ニュータウン内4学区・地域全体の合意形成を図り、住民主体の自立・持続できる体制づくりに取り組む。</u></p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所

事務事業名	久我・久我の杜・羽東師地域の総合的まちづくりの推進		
予算額	2,500千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部まちづくり推進課 (611-1144)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>伏見区の久我・久我の杜・羽東師地域(以下、「3地域」という。)では、小規模住宅開発の急速な進行により、都市基盤の整備が追いつかない状況にある。また、開発に伴う若年人口の急激な流入により、子育て施策や学校施設の不足などが喫緊の課題となっている。さらに、転入者が地域に溶け込む機会が少なくコミュニティの空洞化が進行しつつある。</p> <p>こうした課題を解決するため、これまでから地域と京都市で次の取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の取組 <p>平成19年に3地域の住民代表による「久我、久我の杜、羽東師地域まちづくり協議会」が結成され、地域の課題解決に向けた議論を進めている。平成21年には、テーマごとの3つの専門部会を設置し、「ふれあい朝市」や「まちかどアルバム(古写真展)」など地域のまちづくりの気運醸成を図る取組を実施している。</p> ・京都市の取組 <p>こうした地域の取組への活動支援を行うほか、「久我・久我の杜・羽東師地域の総合的まちづくりビジョン(以下、「まちづくりビジョン」という。)」の策定に向け、「まちづくりビジョン検討庁内プロジェクトチーム」を設置し、「3地域」の課題の共有や、課題解決に向けた施策の検討を行っている。</p> <p>[事業概要]</p> <p>当該地域の良い都市環境の整備推進に向け、地域住民と本市との協働・共汗の取組により、住民、行政の双方の取組の指針、目標となる地域の具体的将来像である「まちづくりビジョン」の策定を目指すものである。</p> <p>平成22年度は、「まちづくりビジョン」の具体的草案検討を行うため、地元住民、学識者、本市の3者による「まちづくりビジョン検討委員会(仮称)」を設置し、議論を進める。(都市計画局との共管)</p> <p>同ビジョンの策定と冊子の配布等については、平成23年度に取り組み予定である。</p> <p>まちづくりビジョンのイメージ</p> <p>地域の歴史と現状を踏まえた、ソフト・ハード両面において目標となるまちの将来像と、それを実現するための土地利用、コミュニティ活性化、定住化促進、生活環境整備などの方針等を定める。</p>			
[参 考(他都市の状況・事業効果など)]			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所深草支所

事務事業名	大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進		
予算額	3,500千円	新規・継続の別	継続
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	まちづくり推進課(642-3203), 大岩街道周辺地域環境整備課(642-3175)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>大岩街道周辺地域では、昭和40年代から違法開発や野外焼却が行われ、昭和50年代以降は野外焼却等による日常的な煙、悪臭、粉塵などにより、地域住民に直接的な被害が生じていた。こうした違法行為に対する強力な指導・現地監視を行った結果、大規模な野外焼却は解消し、本地域の環境改善が当面の課題となっている。</p> <p>京都市では、平成18年3月に本地域のまちづくりの考え方を示した「指針」を策定し、その後、大岩街道周辺地域のまちづくりについて、まちづくりの機運づくり、具体的なまちづくりの条件を示す「まちづくりの方針」策定、まちづくり組織の立ち上げ、地区計画づくりの支援、と三段階に区分して進めている。</p> <p>また、大岩街道南側周辺地域については、市民参加型のシンボリックな事業として、「大岩山ワークショップ」で培った人的ネットワーク等を活用し、大岩山周辺地域を含む大岩街道周辺地域の環境問題に関心のある市民やNPO団体、学生等と行政から構成される「ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会」を平成21年7月に立ち上げ、市民が気軽に散策を楽しむことができる美しい里山作りに向けた取組を推進している。</p> <p>[事業概要]</p> <p>1 「まちづくり組織」の立ち上げに向けた取組</p> <p>「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、地区計画制度の活用に向けた組織の立ち上げを目標とした取組を進める。</p> <p>2 大岩山地域における散策路等の整備</p> <p>平成21年度設立の「ふかくさ自然環境再生ネットワーク推進委員会」を核として、大岩街道周辺地域の環境問題に関心のある市民、地域住民、NPO 団体、学生等で構成するネットワークを生かし、不法投棄根絶活動を継続的に実施するとともに、市民が気軽に散策を楽しむことができる美しい里山の再生に向けた散策路の整備等を行う。</p> <p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所深草支所

事務事業名	深草管内商店街活性化事業		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担当課	区民部まちづくり推進課(642-3203)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 深草管内にある商店街の中でも、特に「伏見稲荷参道商店街」、「深草商店街」は、深草地域を南北に貫く本町通沿いに、北は東山区との境界となる深草榎木橋町(京阪伏見稲荷駅東側)から、南は藤森神社前までの約2キロメートルに位置しており、こうした商店街の活性化は、深草地域のまちづくりに重要な課題である。</p> <p>[事業概要] 深草管内にある商店街の方々をはじめ、地域の大学などと連携し、商店街の活性化に向けた今後の方向性等について情報交換や議論、検討を重ねる。 また、検討に当たり、住民の高齢化などの地域事情やニーズを把握するための調査などを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化につながるまちづくり方策の方向性を検討する意見交換会の実施 ・ 地域の顧客状況やニーズ等、商店街利用者増加につながる調査の実施 など 			
<p>[参考(他都市の状況・事業効果など)] 深草地域では、これまでから「深草トレイル」や大岩山の不法投棄対策などに住民、NPO団体、大学などが連携して熱心に取り組んでおり、こうした地域固有のネットワークを十分に活用することで、事業の相乗効果が見込まれる。</p>			

平成22年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所醍醐支所

事務事業名	地下鉄及び醍醐コミュニティバスの活用による醍醐地域活性化事業		
予 算 額	1,500千円	新規・継続の別	新規
		未来まちづくり推進枠・局配分枠の別	未来まちづくり推進枠
担 当 課	区民部まちづくり推進課(571-6135), 総務課(571-6105)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>醍醐地域は、周辺に豊かな自然が広がり、世界遺産の醍醐寺をはじめ、古刹・名刹などの歴史的資源が点在している。</p> <p>また、地下鉄東西線の開通により京都市内中心部及び宇治市との交通が便利になり、地域の足として運行されている醍醐コミュニティバス(以下「コミバス」)は市民が運営する路線バスとして注目を集めている。</p> <p>そこで、多くの方に地下鉄、コミバスに乗車してもらい、豊富な醍醐地域の観光名所等を満喫できるよう、醍醐を紹介する「マップ」や、「PRパネル」を作成し、醍醐地域の活性化に向けた取組を行う。</p> <p>[事業概要]</p> <p>平成22年度は、地域住民や、学生と連携し次の取組を行う。</p> <p>1 「お散歩・グルメまっぷ(仮称)」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 醍醐地域の自然や、名刹などの歴史的資源を巡るおすすめ散策ルートやお食事処などを掲載するとともに、醍醐地域の足であるコミバスのルートも紹介する。 醍醐支所をはじめ、公共施設及び地下鉄各駅などで配布する。 <p>2 「醍醐PRパネル」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> 醍醐にある古刹・名刹等の写真や醍醐特有の風景等を写し、地下鉄各駅に設置する。 観光客に興味をもっていただけるような「キャッチコピー」を記載する。 <p>[参 考(他都市の状況・事業効果など)]</p> <p>公共交通機関の利用を促進するとともに、地下鉄の増客・増収、歩いて楽しいまちづくりの実現につながる。</p>			